

選考試験 専門記述式問題（民俗学芸員（博物館学））

問題 1

博物館法（昭和 26 年法律第 285 号）第 2 条について、次の問いに答えなさい。

**第 2 条第 1 項**

この法律において「博物館」とは、歴史、芸術、民俗、産業、自然科学等に関する（ ① ）を（ ② ）し、（ ③ ）し、（ ④ ）して教育的配慮の下に一般公衆の利用に供し、その（ ⑤ ）、（ ⑥ ）、レクリエーション等に資するために必要な事業を行い、あわせてこれらの（ ① ）に関する（ ⑥ ）をすることを目的とする機関のうち、地方公共団体、一般社団法人若しくは一般財団法人、宗教法人又は政令で定めるその他の法人が設置するもので次章の規定による登録を受けたものをいう。

**第 2 条第 3 項**

この法律において「（ ⑦ ）」とは、博物館が（ ② ）し、（ ③ ）し、又は（ ④ ）する（ ① ）をいう。

[注] 一部条文を省略している。

（1）上記の条文の空欄①～⑦に当てはまる語句を、次の A～Yの中から選択し、記号で答えなさい。

- |         |         |       |         |          |
|---------|---------|-------|---------|----------|
| A. 一次資料 | B. 閲覧   | C. 学習 | D. 活用   | E. 管理    |
| F. 技能   | G. 興味   | H. 教養 | I. 研究   | J. 研究資料  |
| K. 公開   | L. 収集   | M. 資料 | N. 整理   | O. 蓄積    |
| P. 調査   | Q. 調査研究 | R. 展示 | S. 展示資料 | T. 博物館資料 |
| U. 文化遺産 | V. 文化財  | W. 保管 | X. 保存   | Y. 歴史資料  |

（2）空欄①と空欄⑦に当てはまる語句について、その違いを説明しなさい。

問題 2

博物館において「資料整理」は大変重要な位置付けにあるとされる。そこで、「資料整理」が停滞するとどのような問題が生じるのか、保存と活用の観点から説明しなさい。

問題 3

博物館における「映像展示」について、その位置付けは補助手段であるとの考え方がある。なぜそのように考えられているのかという点を踏まえて、「映像展示」のメリット・デメリットについて説明しなさい。